

周防大島町の話題



▲2隻を並べて引き上げ作業を行う様子

いわし網漁解禁！

6月1日、山口県内最大のいりこの産地である浮島で、今シーズンのいわし網漁がはじまりました。

いわし網漁は、カタクチイワシを探す船1隻、網の設置・引き上げを行う船2隻、獲れたカタクチイワシを運ぶ船1隻の計4隻で1つの船団を組み、連携をとりながら行われます。

引き上げられたカタクチイワシは、すぐに浮島にある加工場に運ばれ、新鮮な状態を保ったままゆであげられ、いりこへと加工されていきます。いわし網漁は、11月下旬まで行われます。

地域おこし協力隊就任

6月1日、大島庁舎で地域おこし協力隊（周防大島町DX業務改善推進員）の辞令交付式が行われました。

着任したのは、東京都出身の松野健二さん^{まつのけんじ}で、着任後は、DX推進班の一員として、庁舎内の業務フローの分析と改善提案などの行政DXの実務を担うとともに、デジタル技術を活用した住民サービスの向上に取り組んでいく予定です。

松野さんは、「職員の皆さまの業務改善や住民の方誰一人残さないデジタルによる利便性の向上に寄与していければと思っています」と意気込みを語りました。



▲藤本町長から辞令を受け取った松野さん④

戦艦陸奥慰霊祭

6月8日、戦艦陸奥殉難将兵慰霊祭が油田農村環境改善センターで行われました。

慰霊祭は東和陸奥顕彰会の主催で行われているもので、全国から遺族や関係者約60人が参列し、式では顕彰会会長の藤本町長による追悼のことばや町内の詩吟同好会「れん」の皆さんによる詩吟の奉納などが行われ、犠牲者への冥福と平和への祈りを捧げました。

戦艦陸奥は昭和18年6月8日、不慮の爆沈により1,121人の将兵と共に、東和の沖合に沈みました。



▲慰霊祭の様子